

発日監第30号
令和2年3月23日

日南町長 中村 英明 様
日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町監査委員 藤森 高善

日南町監査委員 岩崎 昭男

令和元年度定期監査（第2回）の結果について

地方自治法第199条第4項の規定により実施した監査の結果に関する報告を、同法同条第9項の規定に基づき、次のとおり提出します。

なお、同条第12項の規定により、当該監査の結果に基づき又は当該監査の結果を参考として措置を講じたときは、その旨を監査委員まで通知してください。

令和元年度定期監査（第2回）の結果

1. 監査の期間

令和2年2月12日、13日

2. 監査を実施した事項

令和元年度（第2回）は、特に次の点について監査を行った。

(1) 議会事務局

- ・ 議員研修旅費の執行状況

(2) 出納室

- ・ クレジット収納の利用状況

(3) 総務課

- ・ 建物設備等修繕料・・・緊急修繕等執行状況
- ・ 選挙事務作業用 スタッキングテーブル・スタッキングチェア購入
- ・ 【繰越】 日南町単独災害緊急対策補助金の執行状況

(4) 企画課

- ・ 端末 OS 更改委託業務進捗状況
- ・ 10月以降の町営バス、デマンドバスの委託契約状況
- ・ 日南町営バス小型車両購入
- ・ 阿毘縁地域振興センター屋根・外壁等改修工事

(5) 住民課

- ・ 町税等未収金取組み会議の実施状況
- ・ 日南町家庭用発電設備等導入推進補助金の利用状況
- ・ 国保ドック受診状況、検診内容、受診勧奨方法

(6) 福祉保健課

- ・ 介護福祉人材育成奨学資金活用状況
- ・ 子ども子育て支援システム制度改正対応業務
- ・ 胃がん検診における胃内視鏡検査利用状況
- ・ あかねの郷車椅子購入業務

(7) 保育園

- ・にちなん保育園遊具購入事業（総合遊具）

(8) 農業委員会

- ・農業委員会各部会の開催状況

(9) 農林課

- ・意欲ある農業者支援事業費補助金利用状況
- ・(株) オロチ男子トイレ改修工事
- ・町有林間伐事業（坂郷1工区）

(10) 建設課

- ・県営住宅料の収納→県へ振込 流れの確認
- ・交通安全施設設置工事
- ・町道鉄穴内線舗装修繕工事（1工区）
- ・茶屋水源池水量計修繕
- ・生山処理場脱水槽取り替え修繕

(11) 教育課

- ・日南中学校トイレ改修工事
- ・町史編纂委員会の開催状況
- ・「上皇・上皇后陛下の60年」写真展開催に係る委託料

(12) 日南病院

- ・自動視野計アイプラス更新
- ・X線ポータブル撮影装置更新

3. 監査の範囲及び方法・結果について

監査項目のうち工事関係及び委託関係事業については、事前に監査調書作成を求めた。提出された監査調書の項目に基づき、担当課長・担当職員に説明を受け、監査委員が起案文書、入札関連書類及び契約書類等の調査をするなどの方法により実施した。

なお、監査調書作成を行わない監査項目については、事務事業の実施内容等を監査委員が担当課長・担当職員から聞き取りをするなどの方法により実施した。

監査の結果、次の事項については、改善の検討や適正処理をされるよう要望する。

なお、指摘するには至らなかったが、監査を執行するなかで、改善・検討を要する事項については、その旨指示した。

(1) 町史編集委員への報酬支払について

この度の定期監査で町史編集委員会の開催状況の聞き取りを行い、2月17日の例月出納検査で委員報酬の支払いについて確認を行ったところ、「日南町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」に定めた報酬日額(日額3,500円)を超えた額の支払い(日額7,000円)が行われていた。

支出費目及び支払額を確認し、適正な支払い処理をされたい。

(2) 国保人間ドックの受診率について

令和元年度の日南町国民健康保険事業「国保人間ドック」は、昨年(2019年)の6月から9月に実施されているが、対象者314人(昭和29年4月2日～平成2年4月1日生まれの30歳から65歳)のうち最大100人の予定者に対して、受診はわずか24人(7.6%)であった。平成30年度は、対象者353人に対して40人(11%)の実績からみれば、更に低下している。

国保人間ドックは、一人当たり総費用約5万円に対してわずか3千円の個人負担で受診できる。対象者に更なる受診勧奨を行い、受診率の向上を図り事業目的を達成されたい。

(3) 契約書等の不備について

これまでも再三にわたり指摘しているにも関わらず、この度も、①当初契約書と変更契約書の題名が異なっていたもの、②物品購入契約(備品購入費)とすべきものが委託契約(委託料)となっていたもの、③契約書に収入印紙の貼り付けがなされていなかった等の不備が見られた。

前例踏襲といえる契約が多いが、契約書は合意した事項を当事者間で確認するという非常に重要な役割があるとともにリスクマネジメントでもある。

役場内で契約書の標準書式を定め、契約の適正な執行と事務の効率化を図られたい。